

令和4年第2回臨時会 全員賛成の提出議案

令和4年度一般会計補正予算（第6号）  
電力・ガス・食料品等価格高騰に対する支援

「私たちは賛成・反対しました」

令和4年第4回定例会 全員賛成の提出議案

一般職員の給与に関する条例の一部改正 <b>人事院勧告等を踏まえ職員給与等を改正するもの</b>	町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 <b>下水道事業の地方公営企業法規定の適用及び職員の定年延長等を踏まえ改正する</b>
町長等の給与等に関する条例の一部改正 <b>町長等の期末手当の支給割合を改正するもの</b>	梅沢集会所条例の廃止 <b>梅沢集会所の閉館に伴い廃止するもの</b>
令和4年度水道事業会計補正予算（第4号） <b>人件費等・水道加入金・漏水修繕費の増加、委託料の減少など</b>	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合の規約変更 <b>組合議員定数の変更等によるもの</b>
下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備 <b>農業集落排水及び浄化槽設置管理事業において地方公営企業法の規定を適用する</b>	今宿コミュニティセンターの指定管理者の指定 <b>指定管理者を(株)クリーン工房に指定するもの</b>
町職員の定年等に関する条例の一部改正 <b>職員定年延長等を踏まえ改正するもの</b>	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） <b>歳入歳出それぞれ260万円追加</b>
税条例等の一部改正 <b>地方税法等の改正に伴い税条例を改正するもの</b>	発議第8号 鳩山高校の廃校撤回を求める意見書案 <b>埼玉県に対し鳩山高校廃校の撤回を求めるもの</b>

○は賛成 ●は反対 議は議長

令和4年第4回定例会 賛否の分かれた提出議案	関根	石井	中山	日坂	小鷹	森	松浪	小川	石井	根岸	野田	大賀	審議結果
	清隆	徹	明美	和久	房義	利夫	健一郎	唯一	計次	富一郎	小百合	広史	
令和4年度一般会計補正予算（第7号） <b>公共施設電気料金高騰、オミクロン株ワクチン接種体制確保など</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	議	原案可決
令和4年度介護保険特別会計補正予算（第2号） <b>歳入歳出それぞれ1801万円追加</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
発議第7号 議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 <b>議員の期末手当の支給割合を改正するもの</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	議	原案可決
個人情報の保護に関する法律施行条例 <b>個人情報の保護に関する法律の施行に差し必要な事項を定めるもの</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	議	原案可決
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備 <b>法律の一部改正に伴い関係条例を整備するもの</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	議	原案可決
請願第1号 学童保育おしゃもじ山クラブ児童数大幅増加に伴う施設増設等に関する請願 <b>令和5年度新1年生の入所に伴う定員数超過が予想されるため</b>	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議	採 択

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 全議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。



日坂和久 議員

- 盛土造成地について
- 南比企窯跡群とまちづくりについて

関根清隆 議員

- DX計画を伺う
- 子育て世代への福祉について
- 町内人材バンクの提案
- 統一地方選挙公報配布について
- 空き家問題

大賀広史 議員

- 教育行政(町立幼稚園と県立鳩山高校)
- 南比企窯跡群の国指定史跡化の件
- 重郎橋付近の冠水について

石井 徹 議員

- 豪雨災害等による被災者への救済対応及び特別警戒区域他の補償・支援対策について
- 公立中学校の部活動の地域への移行について

松浪健一郎 議員

- 災害が起きた時の職員、消防団、ボランティア団体等の手当について
- 職員教育について、オンザジョブトレーニング中心の職員教育の限界を感じる

森 利夫 議員

- 仮宿地域における企業誘致について
- 町が設置した太陽光発電と温熱利用施設について
- 町の財政について

小川唯一 議員

- フードドライブ事業等について
- 農業行政について

根岸富一郎 議員

- みなし道路について
- 不登校・いじめ問題等について
- 2024年の介護保険改定について

中山明美 議員

- GIGAスクール構想
- 子育て支援
- コミュニティの場の確保を

野田小百合 議員

- 小学生の放課後の過ごし方について
- 子どもへの新型コロナワクチン接種について
- まちの元気づくり、魅力づくりを住民と共に

石井計次 議員

- 公有財産の利活用について
- 本町のマイナンバーカードについて
- 空き家対策について
- 耕作放棄地について

小鷹房義 議員

- 今年の動物による農産物の被害はどのようなか
- 熊井焼について伺う
- 新型コロナウイルス感染症について

日坂 和久 議員



指定される前でも  
将来像は描けたよね……

### 窯跡群(かまあとぐん)指定史跡

## 活用による町の将来像を描けないのか

### 2・3年後、保存活用計画を策定する

**窯跡群の国指定史跡化とまちづくりへの活用**

**問** 平成27年度頃の指定が、今年度まで遅れた理由は何か。

**答** 太陽光発電や北部活性化事業等の発掘・確認調査業務が増加し、意見具申に不可欠な総括報告書の刊行が遅れた。

**問** 国の内諾は受けていながら、資料不備が理由と聞き、心配している。

**答** 今回は不備・不足の指摘はない。大丈夫だ。

**問** 窯跡群は鳩山ならではの歴史文化資源であり、保存活用については、従来から、多くの方々より提案をいただいている。整備の財源等は指定後に確認が必要だが、提案をもとに将来像は描いていると思うが、いかがか。

**答** 提案は保存活用計画策定に盛り込む予定だ。

**問** 総合計画等では、窯跡群を町の魅力としている。他の文化資源と組み合わせ、歴史探訪の「あるくロード」を考えては

**答** 参考にする。

**問** 復元古代窯や遺跡に隣接する農村公園を古代窯の里として、あり方から見直すべきでは。

**答** すでに公園整備時の補助金の縛りはない。ガイダンス施設に最適であり、国指定に伴う再活用を目指す。

**問** 過去に復元古代窯築造・焼成実験等のボランティア活動があった。その活動は意味のないものと考えているのか。

**答** 貴重な活動だ。今後、も協力をいただきたい。

**問** 国指定史跡化を、役場庁内全体で取り組むべきと捉えているのか。

**答** 全体で取り組む。



ボランティアにより焼成された瓦塔

### DX推進・子育て

## DX推進/ランドセル支給/空家対策は

### DX推進中/提案は参考にする等

**問** 日本はDX化が遅れている。町のDX計画は、そして施設予約システム

**答** の検討はいかがか。

**問** デマンドタクシー予約やGIGAスクール教材、デジタル図書館などを実施し、町民向けスマホ教室なども実施している。施設予約については、住民から要望があれば検討していく意向である。

**問** 立山町では子育て支援の一環として、就学援助制度、奨学金制度、新入生準備金支援制度等、手厚い福祉政策を実施し、

加えて、新入生に軽量で丈夫な1万円の統一ランドセルを無償支給するが、当町でもいかがか。

**答** 以前、社協がランドセル支給事業を行ったが、一人も希望者がいなかった。県内での前例もない。

**問** 市販のランドセルは5万円と高額。何か社会が間違っていないか。保護者と一緒に理想のランドセルを考え、業者に発注すれば、保護者や新入生にも喜んでもらえるはず。リュックにもなり、

廉価で、町としても全員に無償支給できる。強要はできないが、貧富の差をなくし、同じものを使うことが大切。いかがか。

**答** 今後検討していく。

**問** 空き家調査と特定空家認定はいかがか。

**答** 空き家調査については9月に㈱ゼンリンと契約し、来年2月末に結果の報告書が出る。3月中から年度初めに皆さんへ報告できる。特定空家の認定は、担当者の個別調査を鳩山町特定空家等判定委員会に答申し、9月頃までに認定を行う予定



関根 清隆 議員

新入生に軽量・丈夫・使いやすいリュック型ランドセルを支給しよう。



富山県立山町のランドセル



大賀 広史 議員



今、手を打たないと、次は亀井小だよ

町立幼稚園

町の幼稚園児の割合は

全体の3割超の60人

町立鳩山幼稚園の存続

問 共働きの増えており、保育時間の長い保育所の利用率が高いのは理解できる。一方で、幼稚園利用者も3割を超える園児がいることも事実だ。3年保育を実施し、持続可能性を高める取り組みを。

答 幼児・児童教育のあり方検討委員会でも、そのような意見が出ている。

問 委員会の答申を受け方針を決めるのは。

答 来年3月に報告書が提出され、町長と教育委員会が方針を決定する。

県立鳩山高校の存続

問 廃校が正式に決定された際、県教育局は町教育委員会などに対し、丁寧な説明をしたと報告があったようだが、事実か。

答 通知のみで、そのような説明は一切なかった。

問 議会は白紙撤回を求める意見書を県に提出するが、町としても抗議するべきではないか。

答 存続を求める要望書は昨年度に提出しており、様々な取り組みは行ってきたので、ご理解願う。

南比企窯跡群の国史跡化

問 平成21年度から取り組んできて、ようやく国指定史跡化ということだが、なぜここまで時間がかかったのか。

答 平成26年度に史跡担当の職員が退職し、試掘などの現場作業が多く、マンパワーが足りず、総括報告書の刊行に想定以上の時間を要した。

重郎橋付近の冠水

問 橋の架け替えに5年以上もかかるこのことだが、それまで災害は待ってくれない。町長に問うが、何か対策は打てないのか。

答 町が実施している用地交渉等に課題がある。

今後、国・県・町との三者協議会を設置する予定で、連携して進めたい。



鳩山幼稚園に3年保育の実施を

石井 徹 議員



被災者への最大の支援は、越辺川と鳩川の合流地点の早期改修だ

災害支援

豪雨被災者への補償と支援は

62戸の被災世帯に見舞金を支給

豪雨災害時の被災者への補償と支援他

問 本年7月の豪雨被害世帯への補償と支援は。

答 床上、床下浸水の被災世帯、各31世帯にそれぞれ2万円、1万円を見舞金として支給し、各被災世帯に町長が持参。

問 それだけか。見舞金は町長判断で決めたのか。また、固定資産税の減免等はしなかったのか。

答 見舞金は内規に従い支給。また、条例の定めによる固定資産税の減免対象になる被害ではなかった。

問 次の災害が来たらでは遅い。今川橋の上流では令和元年の台風19号襲来後、築堤工事が実施されているのに越辺川、鳩川の合流箇所は河川整備はなぜ進まないのか。

答 国の事業であり、荒川水系全体のバランスを考慮に入れ、今後に整備が進められると考える。

問 農地の補償と支援は。

答 播種後の大豆に被害があり、県補助金での支援が可能となった。

区域の指定見直しがあったが、制約はあるのか。

答 特定の開発行為、建築物の構造規制がある。

問 補償や支援は。

答 指定での支援はないが、移転に際し、住宅金融支援機構融資からの優遇措置や構造基準欠落の住宅の場合、一部住宅取得費用の補助がある。

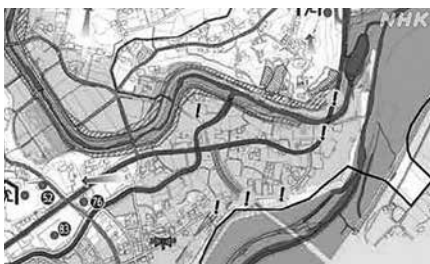
公立中学の運動部活動の地域移行について

問 どのような内容か。

答 生徒数の減少、教師の業務負担の軽減に向けた取り組みで、休日の部活動を地域に移行する。

問 来年度から実施とあるが、鳩山町では。

答 中学校と協議をして、令和7年度から移行予定。



ハザードマップ、越辺川・鳩川合流地点



松浪健一郎議員

いい人材が  
離れていく...

働きやすい職場環境

職場問題の情報共有を！

分業化が進んで、なかなか…

**問** 春に退職した管理職職員から議会に対して、職員の現状等、様々な意見をもらった。

そこで、オンザジョブトレーニング中の、役場職員教育に限界を感じる。オンザジョブトレーニングを行うにも、たくさん業務を抱えて忙しいと、教える余裕もない。教える余裕もない。教わる余裕もない。職員教育で、いま抱えている課題は。

**答** 仕事の分業化が進んだ今、限られた人数で仕事をしなければならぬために、問題をみんなで共有していくことが、大変難しい。人件費を抑制できるのは良いことだが、それに対する弊害が出てきてしまっている。

**問** 職場改善の課題を、それぞれ別の課で出し合って解決していかないと、ますます業務量が増える。そうすると、教えられる、教われない、疲れてしまう、モチベーションが下がって、町民に笑顔で答えられない等、負のスパイラルではないか。

A-1活用で業務量を減らせないか。

**答** 先進自治体では、始まっていると聞く。情報収集して検討する。

**問** 職員の残業代について、課の予算の範囲を超えた残業代は付けられないと聞くが事実か。

**答** 前年度と同様の仕事量であればという前提だが、コロナ対応では、補正予算で対応した。

**問** 有給休暇は消化できているのか。

**答** 平均7日以上取る計画を立てていて、昨年度は7.4日と一応達成している。



笑顔あふれる

職場環境作りを

仮宿(かりやど)地域

建ぺい率等、利用条件の変更状況は

県の建築安全課と事前協議中

今宿仮宿地域

**問** 仮宿地域の区域指定が完了した後、建ぺい率と容積率の変更方針を示したが、その進捗状況は。

**答** 県の建築安全課と建築形態規制等について、事前協議を重ねている。

**問** 知りたいのは、建ぺい率等の変更が今年度中にできるのかということだ。

**答** 目標を達成できるように今後努力する。

**中期財政見直し**  
**問** 7月の豪雨災害復旧工事の、事業債発行を推計して公債費を見込んでいるが、令和5年度に公債費が増えるだけで、以降は減少傾向になっている。理由は。

**答** 災害復旧事業債に係る元利償還見込み額は増加するが、既発債(すでに発行した町債)の償還満了による減少額の方が多いため。

企業誘致も財政健全化も前途多難なようだ



森 利夫 議員

**問** 豪雨災害復旧費用約3億円を財政調整基金(以下財調とする)から支出したが、中期財政見直しでは財調残高が減少

していない。なぜか。

**答** 財調は令和3年度末で約6億3千万円であったが、本年10月時点では約3億8千万円まで減少している。現在のところ災害復旧事業に対し、財調を取り崩し一般財源で対応しているが、今後、災害復旧事業債の発行により、財源振替を行い財調の回復を図りたい。

**問** 町債残高削減計画では、5年間で10億円の削減目標とあるが、経済情勢や災害など毎年変わる。このまめに見直す必要があるのではないか。

**答** 方針の追加や変更は必要に応じて検討する。



建ぺい率50を60%に、容積率100を200%に変更方針の仮宿地域

小川 唯一 議員



もっと周知しないと

フードドライブ

これからの予測は

支援を必要とする人が増える

**フードドライブ**  
**フードパントリー事業**  
**問** 事業を始めてから現在までの状況は。  
**答** 令和2年度より社会福祉協議会と共同で実施。  
**問** 何世帯、あるいは何人が支援を必要としているか。  
**答** およそ15世帯に支援をしている。  
**問** 周知されていないが対策は。  
**答** ホームページに掲載している。  
**問** 協力企業・団体の拡大をどの様に考えているか。  
**答** 令和3年度は11団体から、協力可能、検討したいとの申し出があった。令和4年度は企業連携を進めたい。活動への協賛団体を増やしていく必要がある。  
**問** 支援を必要とする人は、どのような手続きをしたら良いか。  
**答** 長寿福祉課あるいは社協の総合相談支援窓口へ連絡していただきたい。  
**問** 町民だけでなく、支援を希望する団体はあるか。

**問** 現在では町民の支援だけである。  
**問** 着なくなつた服、文房具など広げることではできるか。  
**答** すでに埼玉県社会福祉協議会で実施している。  
**農業行政**  
**問** 農業従事者が10年前と比べると、33・6%減少していると言われる。町の考えは。  
**答** 若い世代の新規就農者の確保、家族経営の後継者の確保、法人経営の規模の拡大の3点で対策に取り組む。  
**問** 鳥獣被害対策実施隊は何人。  
**答** 現在14人が活動中。  
**問** 狩猟免許試験手数料を助成できるか。  
**答** 検討課題としたい。



はとやまみらい応援便

みなし道路

杭など誰が撤去するのか

個別の事案ごとに対応する

根岸富一郎 議員



他市の条例を参考にしたらどうか

**問** みなし道路に杭や構造物がある場合、誰が撤去するのか。  
**答** 安全通行が確保されない障害物は、個別の事案ごとに対応する。  
**問** みなし道路の整備で、自治体として「ぎまり」をつくる必要があるのではないか。  
**答** 寄附採納等を受けながら、整備している。  
**問** 八王子市の「みなし道路整備条例」を参考にしたらどうか。  
**答** 確認し、参考にしない。  
**不登校・いじめの問題**  
**問** 不登校の児童・生徒の実態は、どうなっているか。  
**答** 不登校では、新型コロナウイルス感染との関係はない。  
**問** さわやか相談は多いが、内容は何か。  
**答** 相談の内容は、不登校、性格、行動、学業などである。  
**問** 1人1台のタブレットが配給されているが、なぜか。  
**答** 家で端末を使い、いろいろな学習（ドリル、

試験など）をする必要があるため。  
**2024年の介護保険改定について**  
**問** ケアマネジャーの有料化はどうなる。  
**答** 介護保険から10割給付である。  
**問** 軽度者（要介護1、2）が外され、町の総合事業に移行されると聞く。また、保険料の納付年齢が引き下げられ、介護サービス利用年齢は引き上がることも聞く。それにより、鳩山では準備基金が増えすぎるのではないか。  
**答** 国の部会の議論を注視していく。鳩山においては、低い額の保険料になるよう事業を進めたい。



みなし道路の杭など「誰か撤去して」

中山 明美 議員



インターネットモラルの問題は難しい

### ICT教育

## 教師の研修は

## 教職員間で情報の共有をしている

**問** 教師の研修はどのように行っているか。

**答** 管理職やGIGAスクール推進委員を中心に教職員間で情報の共有を行っている。

**問** 各学校から何人、どのくらいの間隔で開かれているか。

**答** 各学校2人の推進委員、教育委員会事務局の職員で構成し、毎月1回開催している。

**問** GIGAスクール構想を進めてみての問題点は何かあるか。

**答** インターネットの速度がまだ不足している点。今後は、全国・県の学力調査がオンライン化されていくことも決定されており、対応を検討している必要がある。

インターネットモラルの問題。鳩山町教育委員会としてのセキュリティポリシーの策定も計画している。

### 子育て支援

**問** 訪問支援「産後ドゥーラ」の導入を検討しているか。

**答** 今後、その必要性に

ついて、調査研究して検討していきたい。

**問** 出産・子育て応援交付金事業。町はどのような給付を考えているか。

**答** 経済的な支援と伴走型の相談支援をセットにして、切れ目のないサポートを行う。

妊娠届出時の面談実施後に5万円を支給し、出生届出後の面談実施の際に、5万円を支給する。

どちらも面談時に、アンケートを記入してもらうことが支給の条件となる。令和4年4月1日以降に出生された全ての方を対象とし、所得制限はない。



産後ドゥーラは産前産後の母親に寄り添い支える人

### 乳児等コロナワクチン

## リスクをどう考えるか

## 町ができることは正確な情報提供

**問** 5歳から11歳の子どもの接種状況は。

**答** 対象者が517人、11月末までの接種者数127人、接種率24.6%。

**問** 副反応はどのようか。

**答** 報告、相談等はない。

**問** 全国ではコロナワクチン接種後、20歳未満13人が死亡。後遺症で、今も日常生活が困難なケースもある。どのように受け止めるか。

**答** 国の方針に従い、接種体制を構築。町ができることは正確な情報提供。

**問** 生後6カ月から4歳の子どもの接種はどのようか。

**答** 11月22日に、対象者約220人に接種券など必要書類一式を郵送。

**問** 接種券を入れずに、通知だけにするという選択肢はなかったのか。

**答** 接種希望者の負担軽減を考慮した。

### 学童保育おしゃもじ山クラブ

**問** 利用人数の推移予測は。

**答** 入学児童の約6割が利用。毎年20人程度と推



おしゃもじ山クラブ さらなる環境整備を

測している。

子育て世帯の流入も考えられるので、児童数の推移を注視していく。

**問** 保護者会から11月に、要望書が提出されている。どのように考えるか。

**答** 学校敷地内の増設は、建築基準法に基づき接道の基準をクリアできない。他の提案については関係機関との協議、調整が必要。内容などが決まれば、保護者会に伝える。

### 住民と一緒に町の魅力づくりを

**問** 住民からの事業提案などを受け、協働事業を考えないか。

**答** 検証して、提案型事業の実施を検討する。

石井 計次議員



新規就農者への環境づくりを

耕作放棄地

町の対策は

一元的に情報管理したい

耕作放棄地について

問 町ではどのような対策を講じているか。

答 農家から耕作や管理を継続することが難しいなどの相談を受けた際、農業委員会及び認定農業者、規模拡大を目指す新規就農者に情報提供し、支援も含めた農地の継続利用に努めている。

問 農地管理台帳の活用を考えられないか。

答 農業委員会では、権利の終期を把握し、更新手続きの勧奨を行うため、土地の賃貸借情報などを農家別に紙ベースの農地台帳で管理を行っている。

問 新規就農者が参入しやすい営農候補地の紹介や、営農指導などの環境づくりをし、町ホームページで広くPRすべきと考えるがいかがか。

答 電子データで入力できる項目もあり、それらを活用して、貸し出し希望等を一元的に管理できれば効率的。情報入力し形にしたい。ホームページも検討したい。

空き家対策について

問 町ではどのような対策を講じているか。

答 地域住民や周辺の生活環境等に影響があると思われる場合、所有者等に適切な管理をお願いする文書を通知し、対応を求める。

問 庁舎北側の空き家については、特措法で示されている4項目に該当するのではないか。

答 現時点ではチェックリストを用いた個体別の確認はしていないが、特定案件に該当する可能性は高いと認識している。

問 鳩山町特定空家判定委員会での審議、対策協議会への協議を依頼し、いつ頃判定されるのか。

答 来年度の中頃までには判定ができればと考えている。



増加する耕作放棄地

小鷹 房義議員



熊井焼を  
見に行こう

熊井焼のルーツ

熊井焼は誰が、いつ操業したのか

根岸仙之助が1785年に操業

熊井焼について

問 熊井焼の起りには。

答 熊井焼は、今から237年前の天明5年から始まって、昭和38年までの178年間操業した。

根岸仙之助という方が、淡路の国の医師から楽焼の技法を学び、熊井に開業した。主に生活用品の皿や鍋、土瓶、急須、灯火具、花瓶などである。

問 現在、残っている熊井焼はあるか。

答 町指定文化財の窯元根岸家に、熊井焼伝世品がある。教育委員会では、多世代活動交流センター内の文化財分室に所蔵している。

動物被害

問 被害の内容と被害額を伺う。

答 イノシシ、ニホンジカによる被害が多く、増えてきている。被害額は昨年27万5千円で、今年度はもっと増えそうである。鳥獣による被害が多発すると、営農意欲の減退や離農に結びつく可能性がある。

鳥獣被害防止対策とし

て、電気柵設置に要する経費の補助がある。

新型コロナウイルス

問 第8波の対策として、第5回目のワクチン接種率は。

答 対象者1万1279人のうち11月末時点で、3208人が接種済み。今後12月末までに3819人、接種率は62%が見込まれ、他市町村などでの接種を入れると70%以上になる。

問 子どもたちは、学校でどのように過ごしているのか伺う。

答 教室や活動場所では、常時換気を行う。出入り口には消毒液の設置。また、机の位置を工夫。修学旅行については小学校3校とも、予定通り日光方面へ実施することができた。



ロマンを秘めたまぼろしの熊井焼